

◎特集1

がんばれ岡谷の製造業

不況の嵐に挑む中小企業の底力

岡谷は、製糸業発展以来、工業のまちとして進化し、近年ではスーパーデバイス(超精密加工)集積地として、世界に認められています。しかし、昨秋からの経済の冷え込みが、今年に入ってさらに厳しさを増し、世界最高品質を誇る自動車や家電業界に激震が走る今、市内企業にも、不況の影は大きく広がってきています。

淘汰の時代ともいわれるなか、わたしたちはどのように生活を守っていけばいいのでしょうか。

そのヒントを探して、2月に開催されたものづくりフェア、また企業や高校生の熱い挑戦も取材しました。困難に立ち向かう果敢な姿から勇気をもらい、アイデアや経験、未来を夢見る力を手がかりに、チャンスの光を見つけたいものです。くじけない心で輝きを求め、元気に荒波を乗り越えましょう。

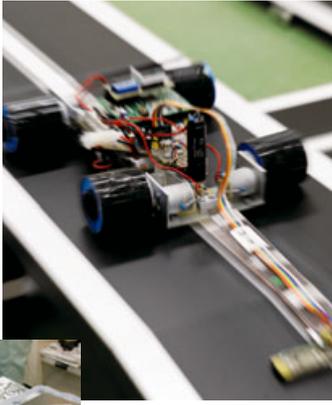


「ものづくり魂」を「ものづくり」に… 卵も匠もエンジニアの志は切磋琢磨せつさたくま

ものづくりフェア2009

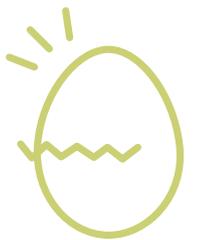
2月13・14日の両日、ララオカヤとテクノプラザおかやを会場に、「ものづくりフェア2009」が開催されました。岡谷の製造業の技術と「ものづくり魂」を広くアピールしたい、未来を担う子どもたちの「ものづくりへの関心」を大きく育てたい、と企業人の熱い想いを結集して始まった催しは、今年で7回目。厳しい経済状況にもかかわらず、過去最多となる168の企業や団体の出展がありました。

「岡谷には、たくさん工場があるけれど、実際にどんなものを作っているの?」「見



慣れた工業製品の中はどうなっているの?」…同フェアの特徴は、ものづくりの楽しさを体験するイベントや展示を通じて、市民が地元企業との距離を縮め、製造業を中心とする岡谷の産業の現状や今後を理解を深めること。さらには企業間の情報交換などビジネスへの展開も含め、きっかけの場として期待を集めています。

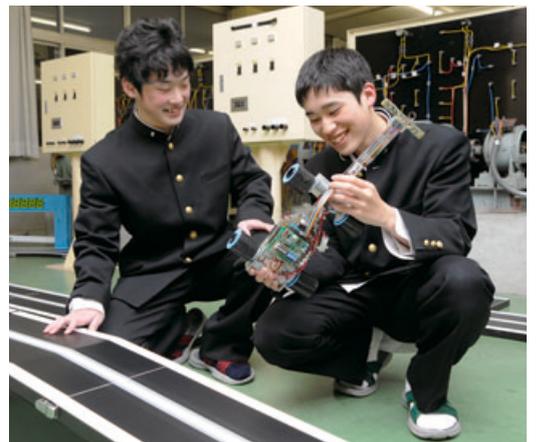
当日は、授業の一環で、または家族と訪れた小・中学生が、企業の技術やアイデアに目を丸くする光景をあちらこちらで見かけました。



マイコンカーラリー・テクノプラザおかや杯

ものづくりフェアと同時開催のマイコンカーラリーには、今年も県内の工業高校から自作のマイコンカー（スタートスイッチを押す以外人の操作はなく、センサーでキヤッチする路面情報と製作者のプログラムで走行）71台がエントリー。直線、カーブ、クランク、起伏などを組み合わせた規定のコースでタイムを競いました。

1月末、大会に向けて調整を続けていた岡谷工業高校電気部を訪問。「岡工の場合は、車体の8割くらいが手作り。モーターや搭載するマイコンといった指定品を除き、基板の設計から自分たちで手がけます。構造をできるだけシンプルに仕上げ、ソフトに微妙な修正を加えながら、100回走って100回完走する安定感をめざして作り込んでいきます。故障もするし、行き詰まることもあるけれど、何が問題かわかると、克服する方法も見つかる。わかってくるととても楽しいです」と話してくれたのは部長の今井勇貴さん(写真左、大会2位)。



先見性と技術開発で活路を拓く 元気企業の粉骨砕身

ふんこつさいしん



「厳しい時だからこそ、生まれるニーズもある。
考える力で企業力を保ち、チャンスの時に備えたい。」

マルゴ工業 代表取締役 山岡俊幸 社長



山岡俊幸社長

半

導体や電子部品の受注は例年の半分くらい、取引全体の規模は縮小傾向ですが、いろいろな産業分野のお客様と幅広くお付き合いいただくなかで、自社の役割を見直し、厳しい受注条件にも応える努力をしています。

技術力は会社の一番の財産ですから、人員削減は考えていません。業務を小さくしてしまおうと、次のチャンスに対応できなくなりません。考える力を育て企業力を高めてい



時代に備えつつ、悪い時は悪いなりに、社会が求めているものをしつかりと見極め、需要を掘り起こしていきたいと思っています。

こんなご時勢ですから、どの会社でも今は増産のための設備など不要ですが、既存の設備を合理化し、省力、省スペース、高速化などを実現する設備なら投資ニーズはあるはず。ですからまずは、自社内でコストや経費を削減する改善アイテムを考え、そのアイデアを他社にメリットを生む製品として応用していく、それが今取り組んでいる自社ブランド開発のスタンスです。技術には自信がありますが、役に立ちコストに見合わなければ意味がありません。いいものを安く、さらには営業力を高めて、今後は環境アイテムなどにも挑戦したいですね。

I

Tバブルが崩壊した8年前、それはちょうど社長職を引き継いだ時期でもあったのですが、仕事がなくて困りました。しかし、今思えばいい経験ができました。社会全体が意気消沈している時になんとか踏んばっていられるのも、あの時を乗り切ったからだと思います。「難しいものの加工技術で勝負していれば、仕事は決してなくなるという自信や「不況で暇なら、自社で何か作ろう」と、余力のあるうちに次へ動く体質が、会社にいい循環を生んでいます。

昨年、創業80周年の事業として社屋移転工事に着手し、営業的にも先手を打って新工場稼働の準備を進めてきたこと、その前向きさが

「同じものをたくさん作ってもおもしろくない。難しいものや特注に 대응してこそ、ものづくりが出来る。」

高林製作所 代表取締役 高林和弘 社長



チャンスにつながったといえます。現在新工場では、週末や夜間にも省人で稼働する自動化プログラムと熟練の職人技の融合で、多品種小ロットに対応。大モノ工作機械の中核部分や、どうやって?と驚かれるような異型の切削など、う



高林和弘社長

ちでしかできない製品においても、高品質短納期を実現しています。

環境は整ったので、あとは人間ですか。若い人には、失敗してもいいからと背中を押し、とにかくやらせます。技術を身につけるにも、何かを作り出すにも、本人が自分で考え、トライするしか道はありませんから。

「でき得る限りの答えを出す努力を惜しまない。小さい会社ならではの小回りで、カスタマイズに対応。」

アイデアシステム 代表取締役 澤 宣夫 社長



澤 宣夫社長

自 社ブランド製品「TELECEEYE (遠隔モニタリング装置)」をはじめ、OEMでも無線デジタル通信機器を手がけています。ほかに特殊な電子回路の組み立て「高密度基板実装」という受注もあります。こういう情勢ですから不況の影響も大きいですが、できるだけたくさんの方野のお客様とお付き合いたい、堅調な業界との取引で、マイナス分をカバーしたいところです。それには、設計段階から販売までに貫して自社調達能力をアップし、メーカーとして自立すること…つまり付加価値の高い製品づくりを社内で完結して、ユーザーに十分納得してもらおう必要があると考えます。

社員55名のうち営業は10名、多いですねとよくいわれますが、営業こそが業務展開のカギ。



そのうえで、回路・ソフト・機械の設計が三位一体で関わる開発が、バランスのよい製品づくりを支えます。集大成の1つであるTELECE-EEYEは、管理システムをソフトに組み込むなどのカスタマイズにより、業務に有効活用できるとの評価を受け、スーパーや外食チェーンで実績を伸ばしています。もちろん研究開発は、さらに一歩先をめざします。少量多品種に比べて培ってきたノウハウを、近未来への取り組みにどう生かしていくか…。介護機器分野などで、今、新たな答を模索中です。

**緊急
経済対策
実施中!**

市内企業の元気な発展が、岡谷市発展の基礎です。経済悪化にともなう製造業の危機に、市では現在、市内企業向けの緊急経済対策として、各種相談の夜間窓口開設や制度資金の利子補給を行っています。

また、産業振興に関する企画立案をする「産業振興戦略室」と施策を実施する「工業振興課」が協力し万全の体制を整えて、企業の体質強化や活動しやすい環境作りの支援に取り組みます。お気軽にご相談ください。

活用できる中小企業応援プログラム

◆ 岡谷市制度資金

事業に必要な資金を低金利で市が支援します。

- 振興資金
- 高度化資金
- 関連倒産防止資金
- 小口零細企業保証資金
- 経営安定資金
- 開業資金

ほか 全13項目で実施

※早めにご相談ください。

(融資実行までは通常で10日ほどかかります)

◆ 岡谷市商工業振興条例に基づく助成制度

工業関係で各種の助成事業を実施しています。平成21年度は新設、廃止を含み、助成内容や名称に変更があります。詳細はお問い合わせください。

- 企業誘致推進事業
 - 工場等新設・増設事業
 - 展示会出展助成事業
 - 創業者総合支援事業
 - 人材育成講座奨励事業
 - 環境経営システム構築支援事業
- ほか

◆ そのほかの商工業事業

- 信州大学大学院 修士課程 超微細加工技術者育成コース 支援事業
 - 航空機部品加工のまちづくり事業
 - 工業のまち「岡谷アーカイブ」 構築検討事業
 - ものづくりフェア開催
- ほか各種

◆ 相談事業&情報提供でバックアップ

- 中小企業相談
 - 労働相談
 - 発明相談
 - 企業情報データベース
- ほか

受講者(大学院生) 募集!

信大 大学院 修士課程「超微細加工技術者育成コース」

企業で働きながら、修士号(工業)が取得できる講座を、テクノプラザおかやで開講しています。企業ニーズの多様化や、技術革新のスピードに対応する「提案型開発技術者」を育成し、企業力向上が期待できます。

問合せ●工業振興課(テクノプラザおかや) ☎21-7000